

第2章 快適環境

1. 川・水辺

現況

三次市の川・水辺

「序編 第2部 第2章 地象・水象・気象」(p.9)で水象に関して述べたように、江の川をはじめとした河川が市内で^{とこま}巴状に合流し、その他多数の中小河川が存在しています。河川は生活用水、農業用水などの供給をはじめ、漁業の場を提供しているほか、市街地においては都市のオープンスペースとして生活に憩いと潤いを与えるなどの役割を果たしています。また、緑地の少ない市街地では、河川・ため池などの水辺空間は貴重な自然空間となっています。

市民アンケート調査結果

河川とふれあえる空間については、満足であると認識されているとは言えない状況にあります。身近な小河川の汚れなどにより、川に近づきにくくなったことが、こうした市民意識に反映されているものと考えられます。

河川とふれあえる空間についての市民の認識 単位：人

項目	市民(20歳以上)	中学生
満足	22(7.0%)	16(5.0%)
やや満足	62(19.6%)	54(17.0%)
どちらともいえない	96(30.4%)	126(39.6%)
やや不満足	71(22.5%)	77(24.2%)
不満足	30(9.5%)	41(12.9%)
無回答・わからない	35(11.0%)	4(1.3%)
合計	316	318

()内は回答比率

資料：環境に関する市民アンケート調査結果

課題と方向性

市民が水に親しめる空間の整備を促進することが必要です。

親水公園の整備については、計画から維持管理段階まで、市民参加を促進することが必要です。

川や水をテーマとしたまちづくり活動を推進することが必要です。



親水公園

2. 公園・緑地

現況

三次市の公園・緑地

三次市の緑の大部分は、市の面積の約半分を占める山林、約1割を占める農地、公園・緑地などで構成されています。また、市街地の周囲を流れる河岸の緑地がこれらを補完する「緑地軸」として大きな役割を果たしています。

市民アンケート調査結果

三次市には緑が多いとの認識があります。一方で、公園などのゆとりの空間の整備については、満足度が高いとは言えず、公園のさらなる充実や、新たな整備が求められています。

緑の多さについての市民の認識 単位：人

項目	市民(20歳以上)	中学生
満足	101(32.0%)	63(19.8%)
やや満足	111(35.1%)	108(34.0%)
どちらともいえない	56(17.7%)	84(26.4%)
やや不満足	16(5.1%)	40(12.6%)
不満足	1(0.3%)	18(5.7%)
無回答・わからない	31(9.8%)	5(1.5%)
合計	316	318

()内は回答比率

資料：環境に関する市民アンケート調査結果

ゆとりの空間(公園や広場)についての市民の認識 単位：人

項目	市民(20歳以上)	中学生
満足	10(3.2%)	18(5.7%)
やや満足	75(23.7%)	51(16.0%)
どちらともいえない	86(27.2%)	105(33.0%)
やや不満足	73(23.1%)	92(28.9%)
不満足	42(13.3%)	49(15.4%)
無回答・わからない	30(9.5%)	3(1.0%)
合計	316	318

()内は回答比率

資料：環境に関する市民アンケート調査結果

課題と方向性

公園・緑地の充実を図ります。

3. 景観

現況

三次市の景観

三次市では「三次町歴みち協議会」を設立し、歴史的地区の環境整備を図っているほか、電線地中化、屋外広告物の規制指導、公園・緑地などの豊かな緑とオープンスペースの確保を図り、潤いのある都市景観の創造に努めています。一方で、歴史的まちなみなどの景観は、近年の建築様式とともに、変化しつつあります。



出会いの広場



ワインロード

課題と方向性

水と緑を生かした三次市独自の景観づくりが必要です。

市民参加によって、個性的で魅力ある景観を創造していくことが重要です。

歴史的まちなみを活かした景観づくりを行うことが重要です。

中国地方の内陸拠点都市として、賑わいやホスピタリティのある都市環境の創出が必要です。

4. 文化財

現況

三次市の文化財

三次市には3,000基を超す古墳が存在しており、その数は広島県内で確認されている古墳の約3分の1を占めています。また、弥生時代の墳墓、古代住居跡、中世の山城跡など、学術的にも評価の高い遺跡が分布しています。「広島県立みよし風土記の丘」には国の史跡である浄楽寺・七ツ塚古墳群、復元された古代住居や古民家、「広島県立歴史民俗資料館」などがあります。

さらに、三次市内には、旧真野家住宅（「広島県立みよし風土記の丘」内に移築復元）などの重要文化財、船佐山内逆断層帯などの天然記念物、鶺鴒や三次人形などの無形文化財など、さまざまな文化財が存在しています。

市民アンケート調査結果

三次市の文化財や寺社などの歴史的なものとのふれあいに関しては、満足・不満足両方の認識がなされています。しかしながら、郷土の古いまちなみやみよし風土記の丘など歴史的なものの保存が必要であるとの認識が高くなっています。

歴史的なものとのふれあいについての市民の認識 単位：人

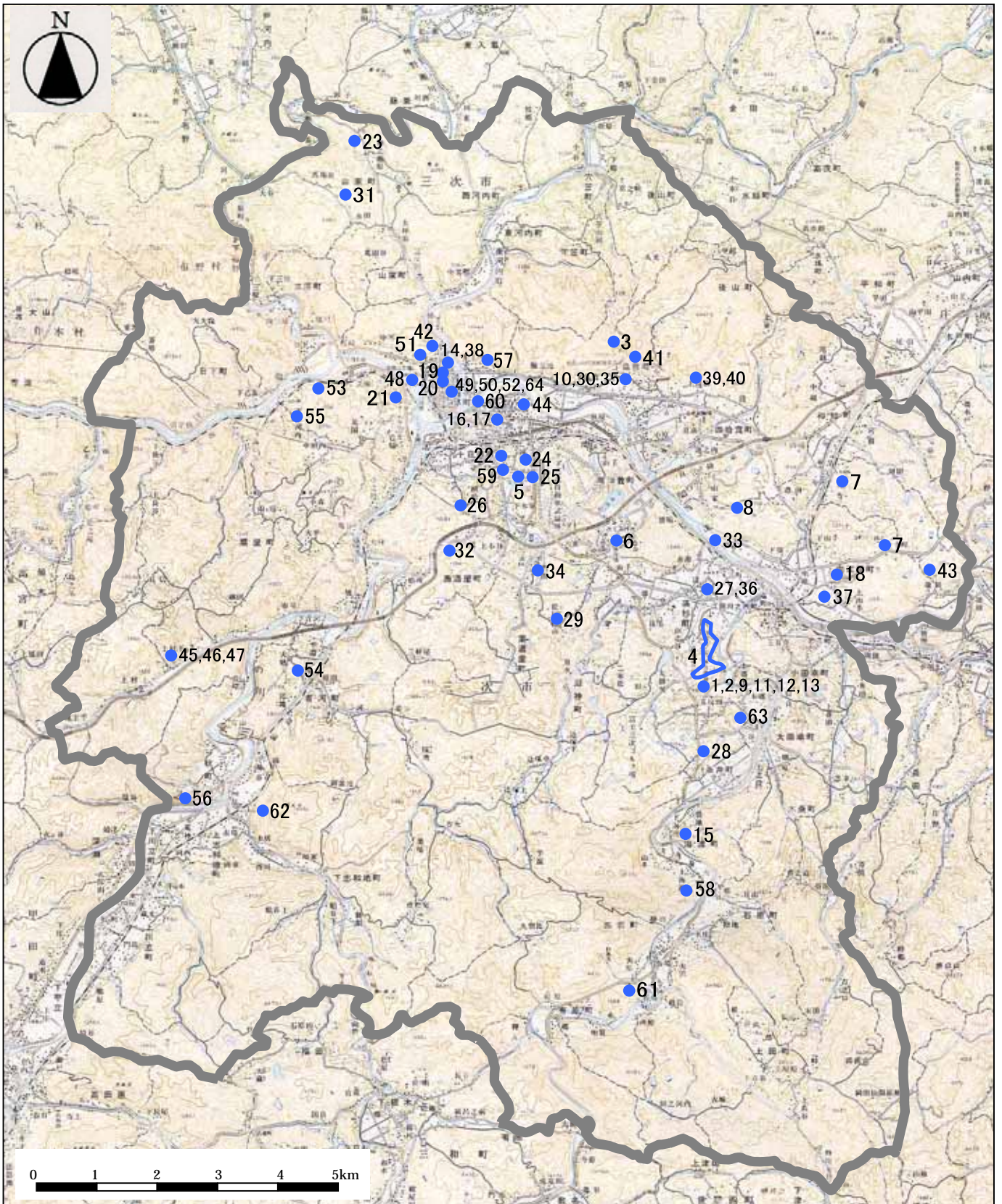
項目	市民(20歳以上)	中学生
満足	12(3.8%)	33(10.4%)
やや満足	74(23.4%)	63(19.8%)
どちらともいえない	128(40.5%)	137(43.1%)
やや不満足	54(17.1%)	48(15.1%)
不満足	13(4.1%)	33(10.4%)
無回答・わからない	35(11.1%)	4(1.2%)
合計	316	318

()内は回答比率

資料：環境に関する市民アンケート調査結果

課題と方向性

市民や関係機関との連携によって、文化財の適切な保存・整備を図る必要があります。



三次市内指定文化財および登録文化財位置図

この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の5万分1地形図を複製したものである。(承認番号 平14中複 第236号)

三次市内指定文化財および登録文化財一覧

種別	名称	所在	種別	名称	所在
1 重要文化財	旧真野家住宅	県立みよし風土記の丘	33 広島県天然記念物	三次の地ろう産地	高杉町
2	広島県矢谷古墳出土品	広島県立歴史民俗資料館	34	東酒屋の海底地すべり構造	東酒屋町
3 天然記念物	船佐山内逆断層帯	畠敷町	35	こま犬	熊野神社(畠敷町)
4	浄楽寺・七ツ塚古墳群	高杉町・小田幸町・大田幸町	36	知波夜比古神社本殿	高杉町
5	花園遺跡	十日市南	37	塑造仏頭	向江田町(個人蔵)
6 史跡	矢谷古墳	東酒屋町	38	木造釈迦如来坐像	三勝寺(三次町)
7	寺町庵寺跡	向江田町・和知町	39	木造不動明王立像	岩屋寺(畠敷町)
8	陣山墳墓群	四拾貫町・向江田町	40	木造阿弥陀如来立像	岩屋寺(畠敷町)
9 重要有形民俗文化財	江の川流域の漁撈用具	広島県立歴史民俗資料館	41	木造大日如来坐像	如来堂(畠敷町)
10	熊野神社宝蔵	畠敷町	42	木造開山平田 和尚坐像	西江寺(三次町)
11	鉄製釣燈籠	広島県立歴史民俗資料館	43	金銅仏頭	向江田町(個人蔵)
12	金銅製板塔婆	広島県立歴史民俗資料館	44	往来本	三次市立図書館
13	木造阿弥陀如来坐像	広島県立歴史民俗資料館	45	御神体	鳴戸神社(粟屋町)
14 広島県重要文化財	銅鐘	三勝寺(三次町)	46	こま犬	鳴戸神社(粟屋町)
15	木造薬師如来坐像	掃海寺(海渡町)	47	獅子頭	鳴戸神社(粟屋町)
16	刀(芸州大山住宗重作)	十日市東(個人蔵)	48	キリシタン燈籠	尾関山(三次町)
17	鉄 漆塗二十八間二方白総覆輪阿古陀形筋兜鉢	十日市東(個人蔵)	49	稲生物怪録絵巻(塚田家本)	三次市歴史民俗資料館
18	木造日蓮上人坐像	広島県立歴史民俗資料館	50	稲生物怪録絵巻(吉田家本)	三次市歴史民俗資料館
19	頼杏坪役宅(運覽居)	三次町	51	稲生物怪録(吉祥院本)	吉祥院(三次町)
20	三次社倉	三次町	52	三次実録物語	三次市歴史民俗資料館
21	岩脇古墳	粟屋町	53	鹿島神社本殿	鹿島神社(粟屋町)
22	若宮古墳	十日市南	54	木造阿弥陀如来坐像	西光寺(青河町)
23 広島県史跡	山家一里塚	山家町	55	三次市史跡	下津河内丸山鉄穴跡
24	日光寺住居跡	十日市南	56	秋町一里塚	秋町
25	下本谷遺跡(三次郡街跡)	西酒屋町	57	三次市天然記念物	寺戸のモッコク
26	酒屋高塚古墳	西酒屋町	58	八幡神社のケヤキ	海渡町
27	高杉城跡	高杉町	59	三次市無形文化財	三次人形
28	糸井大塚古墳	糸井町	60	鶺鴒	十日市南(丸本 堯)
29	東酒屋の褶曲	東酒屋町	61	三若神楽(大仙の能・荒神の能)	十日市西(角浜八郎他)
30 広島県天然記念物	熊野神社のシラカン	畠敷町	62	三若神楽(大仙の能・荒神の能)	三若神楽団
31	山家のヒイラギ	山家町	63	志賀神社の六神儀	六神儀保存会
32	西酒屋の備北層群大露頭	西酒屋町	64	三次の川船	大田幸町(光森賢治)
				文化庁登録有形文化財建造物	三次市歴史民俗資料館
					三次町

5. 観光

現況

三次市の観光拠点として、「広島県立みよし風土記の丘」「広島県立歴史民俗資料館」や「広島三次ワイナリー」などがあります。観光行事としては、「鵜飼」が全国的に名高く、観光の中心です。最近では、商工フェスティバルやワイン祭など、地域産業と連携した新しい交流行事が生まれています。

三次市の観光客数は年間 100 万人弱であり、そのうち約 3 分の 1 は県外客が占めています。

三次市の主なみどころ

みどころ	位置	概要
尾関山公園	三次町，市街地の北西，江の川河畔	さくら，つつじ，青葉，紅葉，雪景色，浅野三次藩主の菩提寺鳳源寺，大石良雄手植えのしだれ桜，瑤泉院遺髪塔
頼杏坪役宅（運甕居）	三次町，三次小学校前	1820 年代の三次町奉行頼杏坪（頼山陽の叔父）
若宮公園	十日市南，三次駅南方 200m の山丘	さくら，つつじ，八幡神社，若宮古墳，三次人形窯元
矢谷古墳	三次地区工業団地内（東酒屋町）	（国史跡）四隅突出型墳丘墓（主軸長 18.5m）
高谷山	粟屋町，三次盆地の西側山地	標高 490m からの三次市市街眺望，霧の海（早秋から春），展望台
広島県立みよし風土記の丘	高杉町，小田幸町	比高 30～40m の丘陵地約 30ha，県緑地環境保全地域（16.5ha），広島県立歴史民俗資料館，浄楽寺古墳群（120 基），セツ塚古墳群（52 基）
広島三次ワイナリー	東酒屋町	ワイン工場見学，三次ワインの試飲コーナー，文化交流館など
平田観光農園	上田町	四季折々のフルーツ狩り，特産品販売，レストランなど

資料：たのしいまちづくり課 など

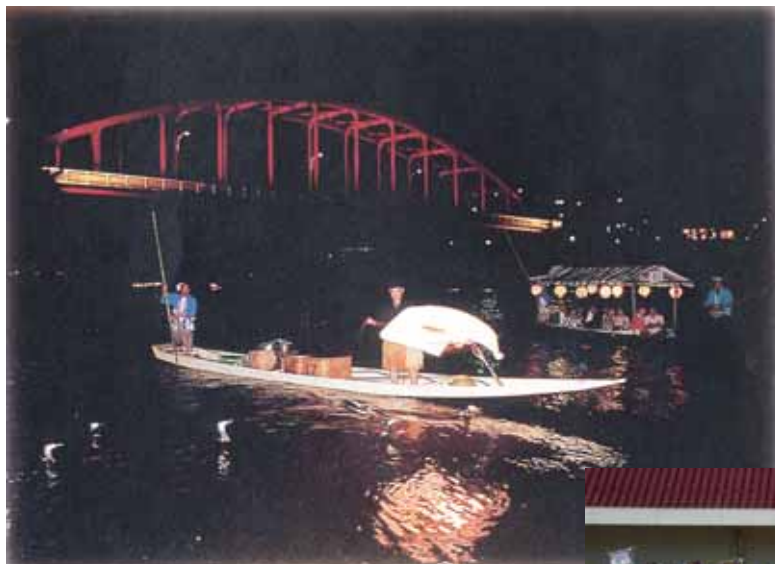
三次市の主な観光行事

行事	期間	概要
三次さくら祭	4 月上旬	中国地方屈指の桜の名所「尾関山公園」にて開催，野外ステージ，県北特産品販売など
鵜飼	6 月 1 日から 8 月 31 日まで	永禄年間（1558～1569）に始まったと言われる鵜を使った鮎漁。遊覧船，鮎料理など
三次きんさい祭	7 月末	市民総ぐるみのパレード，三次どんちゃん，国際村など夏の祭り
管弦祭・市民納涼花火大会	7 月末	十日市町厳島神社の祭り，古式豊かな御座船，夜空をこがす大花火大会

資料：たのしいまちづくり課 など

課題と方向性

市民や観光協会が一体となり，観光地の環境整備に努める必要があります。



鵜飼 6月15日~8月31日



広島三次ワイナリーでのワイン祭 10月上旬



風土記の丘の浄楽寺古墳群